

# ガソリン等の詰め替え及び保管に関する防火安全上の注意事項

## ☆ ガソリン・軽油・灯油の危険性と容器の注意事項

### ガソリン・軽油・灯油の危険性

- ・ガソリンは気温が $-40^{\circ}\text{C}$ でも気化し、小さな火源でも爆発的に燃焼する物質です。
- ・ガソリンの蒸気は空気より重いため、穴やくぼみなどに溜まりやすく、離れたところにある思わぬ火源（ライター等の裸火、静電気、衝撃の火花等）によって引火する危険性があります。
- ・軽油・灯油は、大量に保管すると火災危険性が高まるとともに、一旦火災が発生すると大火災になる危険性があります。

### ガソリン等を入れる容器

- ・ガソリン・軽油・灯油を入れる容器は、消防法令により、一定の強度を有するとともに、材質により容量が制限されています。
- ・特に、灯油用ポリ容器（20リットル）にガソリンを入れることは非常に危険ですので行わないでください。

#### ガソリンを入れる主な容器の容量制限

プラスチック製容器	10リットル以下
金属製容器	60リットル以下
金属製ドラム	250リットル以下

#### 軽油を入れる主な容器の容量制限

プラスチック製容器	30リットル以下
金属製容器	60リットル以下
金属製ドラム	250リットル以下

### プラスチック製容器



ガソリン×  
軽油・灯油○

※20リットル缶

### 金属製容器



ガソリン○  
軽油・灯油○

※法令に定められた性能試験において、安全性が確認された容器を使用してください。

## ☆ ガソリンスタンドで購入する際の注意事項

### ガソリンスタンドの利用者の注意事項

- ・セルフスタンドでは、利用客が自らガソリンを容器に詰め替えることはできません。
- ・灯油を自ら容器に詰め替えるときは、灯油の注油設備であることを十分確認してください。
- ・石油ストーブ等に誤ってガソリンを給油した場合、火災に至る危険性が極めて高くなります。
- ・灯油の買いだめは危険ですので、極力控えてください。
- ・消防法令の基準に適合した容器で購入してください。

### ガソリンスタンドの所有者等の注意事項

- ・セルフスタンドでは、利用客が自らガソリンを容器に詰め替えることはできないため、利用客が自らガソリンを詰め替えることがないように、給油が完全に完了するまで監視を怠らないようにしてください。
- ・利用客がガソリンの給油設備を灯油の注油設備と間違えて給油する危険性がありますので、ガソリンの給油設備では「自動車への給油であること」等を十分確認してください。

## ☆ ガソリン等を容器に入れて保管する際の注意事項

### ガソリン・軽油・灯油の保管

- ・ガソリンは、火災の発生危険性が極めて高く、火災が発生すると爆発的に延焼拡大するため、ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。
- ・軽油や灯油は、大量に保管すると、火災の発生危険が高まるとともに、火災が発生すると、大規模な火災となる危険性が高いため、大量保管することは控えてください。

### ガソリン・軽油・灯油の保管場所

- ・消防法令に適合した容器で保管する場合でも、合計40リットル以上のガソリン又は合計200リットル以上の軽油・灯油を保管する場合は、火災予防条例や消防法により建物の大幅な改修が必要となる場合がありますのでご注意ください。

